

令和5年度
自己点検・評価報告書
富山情報ビジネス専門学校



令和6年4月

自己点検・評価報告書

この自己点検・評価報告書は富山情報ビジネス専門学校の2023年度の自己点検・評価活動の結果を記したものである。

作成日 2024年4月30日

校長
島田 勝彰

自己点検・評価責任者

学事部 次長
石田 哲也

目次

1. 評価方法について
2. 教育理念・教育目標
3. 基準項目
 - 大項目1 教育理念・目的・人材育成像
 - 大項目2 学校運営
 - 大項目3 教育活動
 - 大項目4 学修成果
 - 大項目5 学生支援
 - 大項目6 教育環境
 - 大項目7 学生募集
 - 大項目8 財務
 - 大項目9 法令遵守
 - 大項目10 社会貢献・地域貢献

基礎資料

評価方法について

(1) カテゴリー

「自己点検・評価表」では、各評価項目を A・B・C・S・Q・J という 6 つのカテゴリーに分類し、それぞれがどのカテゴリーに属するかを表示している。本書では、これら 6 つのカテゴリーの内、A・B・C という 3 つのカテゴリーに分類される。

なお、各カテゴリーの位置づけは以下のとおりである。

(1) 文部科学省のガイドラインにも掲載されている基本的な事項は、カテゴリーA (2) 職業実践専門課程の認定を受けているところは、カテゴリーA+カテゴリーB (3) 第三者評価などに取り組む場合には、対象とする認証機関によって、

- ・カテゴリーA+カテゴリーB+カテゴリーC = 更なる質の向上を目指す
- ・カテゴリーA+カテゴリーB+カテゴリーS= 私立専門学校等評価研究機構 2
- ・カテゴリーA+カテゴリーB+カテゴリーQ= QAPHE
- ・カテゴリーA+カテゴリーB+カテゴリーJ= JAMOTEC

(2) 評価基準(定量的評価)

自己点検・評価報告書では、小項目ごとに 4(適切)、3(ほぼ適切)、2(やや不適切)、1(不適切)の 4 段階で評価を行うこととしている。4 段階評価であるので、「ふつう」のような、評価を「保留」という選択肢は無く、少なくとも、どちらかと言えば「適切」なのか「不適切」なのかを判定していく。

どちらかと言えば「適切」であるならば、その上で、4(適切)なのか、3(ほぼ適切)なのかを判定した。判定基準としては重要な観点は「エビデンス」とした。提示したエビデンスにより、第三者を含む多くの者が「適切」と判断できるのであれば 4(適切)と判定し、エビデンスが不十分であるならば 3(ほぼ適切)と判定する。

一方、どちらかと言えば「不適切」であるならば、どの程度不適切なのかを判定することとなる。小項目にて示されている事柄について、エビデンスは明示できない(存在しない)ものの、取組自体は行われているということであれば 2(やや不適切)と判定し、そもそも取り組まれていないということであれば 1(不適切)と判定する。

さらに、「適切」であることにとどまらず、特筆すべき優良な取組がなされている場合には 4+(優良)と判定することで、更なる質向上への取組につながる評価を行うことができる。

【urayama philosophy】

建学の精神・教育理念・教育目標・方針・行動規範

【建学の精神(Ethos)】

- 1 質実明朗
- 1 知行合一

【教育理念(Mission)】

質実明朗な人格形成および知行合一な人材養成

【教育の理想(Vision)】

『地学一体による地域課題解決拠点』としての教育・研究機関

【行動規範(Value)】

私たちは、エルビー羅針盤思考を軸に新しいフィールドへ踏み出す積極的な姿勢を持って行動する。



Learning(よりよく学び)

Behavior(よりよく振る舞い)

Compassion(常に思いやりをもって)

Aspiration(より高い抱負で)

大項目1 教育理念・目標		カテゴリー	点数 4、3、2、1	エビデンス
中項目1	理念・目的・育成人材像 (教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材像等が明文化されているか。職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか)			
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	A	4	urayamaphilosophy
2	学生・保証人(保護者)に対して教育理念等を明文化し、周知しているか	A	4	HP, カレッジガイド, 募集要項等
3	教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	B	4	全体会、講師会等
4	学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか	B	4	HP, カレッジガイド, 募集要項等
中項目2	教育の特色(社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか)			
1	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか(コース修了後に、学習者とそのコンピテンスのレベルを必要とする目的や状況が明確にされているか)	A	4	教育課程編成委員会、ディプロマポリシー
2	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか(学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか)	A	4	教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会
3	学校における職業教育の特色は明確になっているか	A	4	ディプロマポリシー、HP
4	各修業期間における教育目的・目標・教育計画が文書化され、提示されているか	C	4	ループリック
		平均	4.0	
		A平均	4	

1:課題
①大項目1に関しては、学校・学園の根幹になる内容が多く、作成・公表できていることが大半であった。
2:今後の改善策
①今後も本項目の内容については作成・公表だけでなく教職員の理解度を深めるためにOJTなどを企画、実践していく必要がある。
3:特記事項

2 学校運営		カテゴリー	点数 4、3、2、1	エビデンス
中項目1	運営方針（運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか）			
1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	A	4	urayamaphilosophy、HP、カレッジガイド等
2	運営方針を教職員に周知しているか、また必要に応じてその理解の状況を確認しているか	B	4	urayamaphilosophy、HP、カレッジガイド等
中項目2	事業計画（事業計画を作成し、執行しているか）			
1	運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか	A	4	重点目標、理事会・評議員会議事録
2	学校の年間スケジュールはあるか	A	4	Bitハンドブック(年間スケジュールカレンダー)
中項目3	中期計画（中期計画を作成し、運用しているか）			
1	中期計画の策定に向けて、教育理念（建学の精神）、教育目標等の再定義を含め、中長期的ビジョンや財務的な目標を設定しているか	C	3	中期経営計画書
2	中期計画と事業計画は関連付けられているか	C	3	中期経営計画書
3	理事会にて中期計画を説明し、必要に応じて改善し、承認を受けているか	C	3	理事会議事録
中項目4	運営組織（運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか）			
1	寄附行為、理事会会議規則等（法人）、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会（法人）、学校の運営会議等が開催されているか	A	4	理事会議事録、定款等
2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	A	4	浦山学園規定集
3	組織機能図があるか	A	4	組織図、業務分掌
4	運営会議（教職員会議・教員会議等）が定期的に行われているか	B	4	運営会議議事録
5	理事会・評議員会の議事録は公開されているか	C	4	理事会議事録
6	教職員（組織の構成員）それぞれの職務分掌が文書化されているか	C	4	業務分掌
21	出退勤管理簿があるか	A	4	出勤簿、就業規則
22	教職員の健康診断がされているか	A	4	教職員健康診断の案内
41	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか	A	3	実施記録、支払い履歴等

中項目5	教職員の評価・育成（教員及び職員の能力評価・能力向上に向けた取組みを行っているか）			
1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	A	4	教職員名簿
2	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っているか、または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行っているか	A	3	HP、求人票
3	授業評価の実施・評価体制はあるか	A	4	授業アンケート
4	教員の組織体制を整備しているか	A	4	講師会議事録、組織図
5	職員の能力開発のための研修等が行われているか	A	3	研修報告書
6	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組みが行われているか（研修等の効果を評価し、文書により記録しているか）	A	3	研修報告書
7	教育の成果（学修結果）に基づく教員面接を実施しているか	B	3	授業アンケート
8	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させているか	B	4	別紙様式4
9	教員に対して、割り当てられた職務及び責任、学習サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニーズに対する見解を考慮に入れて、 <u>専門能力開発の計画を作成</u> しているか（教職員研修計画の作成）	B	4	別紙様式4
10	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	B	4	学生共有表
11	事務職員の意欲・資質の向上を図るための方策を講じているか	C	1	
中項目6	人事・給与制度（人事・給与に関する制度を確立しているか）			
1	人事に関する制度を整備しているか	A	4	学園本部にあり
2	給与に関する制度を整備しているか	A	4	学園本部にあり
3	昇給・昇格制度は文書化されているか	B	4	学園本部にあり
4	採用制度は文書化されているか	B	4	学園本部にあり
中項目7	情報システム（情報システム化等による業務の効率化が図られているか）			
1	情報システム化等による業務の効率化が図られているか（情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか）	A	4	業務分掌、学生配布資料、講師会資料
		平均	3.7	
		A平均	3.8	

1:課題
①教職員の研修状況が課題である ⇒職業実践専門課程の対象学科は年間最低2回の研修実績あり ②教員は研修への意識が高いが事務職員に関しては現状として積極的に参加できていない
2:今後の改善策
①職業実践専門課程対象外の学科についても年2回を目標 ②SD研修の実施
3:特記事項

3 教育活動		カテゴリー	点数 4、3、2、1	エビデンス
中項目1	目標の設定（教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか）			
1	教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）を明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	A	3	HP(カリキュラム・ポリシー)
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	A	2	なし
3	教育目的および育成人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	B	3	HP(ディプロマ)
中項目2	教育方法・評価等（各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか）			
1	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A	4	HP（カリキュラム）
2	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	A	4	HP（シラバス）
3	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	B	1	なし
4	シラバスあるいは講義要項（作成されていればコマシラバス）などが事前に学生に示され（あるいはホームページなどで公開されて）、授業で有効活用されているか	B	4	HP（シラバス）
5	授業はシラバスに基づいて授業が展開されているか。また学校構成員（すべての教員、職員、学生）に周知を図っているか	C/J	1	なし
21	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか（教育内容およびその評価方法、評価項目、手段、スケジュールは適切か）	A	1	なし
22	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	B	1	なし
23	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか（学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか）	B	4	授業アンケート、学生満足度アンケート
24	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか	B	4	授業アンケート
41	カリキュラム作成の際、複数のメンバーによるカリキュラム作成やカリキュラム作成委員会等の形で、作成したカリキュラムの検証が行われているか	B	3	なし
42	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたはその意見を取り入れているか	B	4	教育課程編成委員会議事録
81	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	A	4	シラバス（就職支援）
82	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられ、その内容、評価法などが事前に決められているか	B	3	インターンシップ資料
83	[職業実践専門課程] 専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っているか	B	4	教育課程編成委員会の議事録 教育課程編成委員会様式4
84	企業・施設等での職場実習（インターンシップ含む）があるか	B	3	インターンシップ資料
85	企業・地域・行政との連携を図っているか	C	4	MR会議資料 射水市連携などの契約書
86	他の高等教育機関との連携講座等を行っているか	C/Q	4	成果物

中項目3	成績評価・単位認定等（成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか）			
1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A	4	Bitハンドブック 進級・卒業判定会議
2	学生や保証人（保護者）に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	B	4	HP（Bitハンドブック） HP（カリキュラム）
3	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	B	4	進級・卒業判定会議の資料
4	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っているか	B	4	教育課程編成の議事録
中項目4	資格・免許取得の指導体制（資格・免許取得のための指導体制があるか）			
1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか（発行する修了証明書の種類及び内容）	A	4	資格目標一覧
中項目5	キャリア教育等（基礎的・汎用的能力（①人間関係形成・社会形成能力、②自己理解・自己管理能力、③課題対応能力、④キャリアプランニング能力）を身につけるための取組が実施されているか）			
1	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	B	4	シラバス
2	卒業後の専攻分野におけるキャリア形成への適応性、効果を把握しているか。また、それを踏まえ教育活動等の改善を図っているか	C	1	なし
21	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	A	3	高校案内資料
41	リメディアル（導入前教育・補習）教育を行っているか	C	4	入学前学習資料
	平均		3.2	
	A平均		3.2	

1:課題
①「授業評価マニュアル」など各教職員が内部で授業を評価する仕組みがない ②企業アンケートなどを実施していない
2:今後の改善の方策
①どのような授業を、浦山学園としてゴールとするかを定義付ける必要がある。質実明瞭で知行合一な授業とはなにか。その評価基準はどんなものかを決める必要がある。授業アンケートと同様の基準で良いのか。変えるのかも検討。 ②企業アンケートを年に1回ほど実施する。ただし大規模なものなど、また風化してしまうので簡略化されたものが良いと思う。
3:特記事項

4 学修成果・教育成果		カテゴリー	点数 4、3、2、1	エビデンス
中項目1	学修成果（各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか）			
1	コース全体を通して、及びコースの修了時に、学習者の習熟状況をアセスメントしているか	A	4	学修達成度評価表
2	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか（測定する知識、スキル及び能力、測定の基準、アセスメントの方法は明確か）	B	4	ルーブリック
中項目2	就職率（就職率の向上が図られているか）			
1	就職率の向上が図られているか（結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか）	A	4	内定率推移実績（目標）、就職活動報告書
2	学生の就職に関する目標が、教職員に共有されているか	A	4	内定率推移実績（目標）
3	学生の就職活動に関する記録がなされているか	B	4	就職活動報告書
4	対外部に向けた就職実績を公表しているか（パンフレット・HP等）	B	4	カレッジガイド、HP
5	学生の就職結果に関して検証・報告がされたか	C	4	部署評価
中項目3	資格・免許の取得率（資格・免許取得率の向上が図られているか）			
1	資格取得率の向上が図られているか （目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか）	A	4	検定実施報告書、検定合格目標一覧
2	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか	A	4	検定合格目標一覧
3	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	4	検定合格目標一覧、検定実施報告書
4	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか	B	3	検定合格目標一覧
5	資格・検定・コンペの結果（合格者数・合格率）を公表しているか	B	4	HP、パンフレット、（2023検定カウント（企画用））
中項目4	社会的評価（卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか）			
1	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか（卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか）	A	2	卒業生就職先アンケート（直近R2年度卒業生にR3年に実施） 企業訪問記録
2	卒業生の動向について、年度毎に調査・集計し、動向等を把握しているか	C/Q	1	卒業生就職先アンケート（同上） 企業訪問記録
3	卒業年度だけでなく、卒業後一定期間後の勤務先等就業状況を調査・把握しているか	C/Q	2	卒業生就職先アンケート（同上）
		平均	3.5	
		A平均	3.7	

1:課題
不十分となった「卒業生動向把握・支援」については、定期的に就業先アンケートを実施する他、企業訪問時に情報交換は行われている。また、卒業生が利用できる就労マッチングシステムを整備しているものの、個別支援を展開する運用には至っていない。
2:今後の改善の方策
総会開催年となる4年に一度の周知では活用は難しいため、卒業時にメールアドレスを集約し、卒業生向けにUMPの案内を随時発信できるような仕組みを作る。
3:特記事項

5 学生支援		カテゴリー	点数 4、3、2、1	エビデンス																				
中項目1	修学支援（学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか）																							
1	学生への修学支援を適切に行っているか	A	4	<table border="1"> <tr><td>情報システム学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>建築・デザイン学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>Webクリエイター学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>ホテル・ブライダル学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>医療事務学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>診療情報管理士研究科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>情報ビジネス学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>国際ビジネス学科</td><td>学科MTG議事録</td></tr> <tr><td>公務員学科</td><td>不明</td></tr> <tr><td>日本語学科</td><td>学科MTG議事録</td></tr> </table>	情報システム学科	個別面談記録	建築・デザイン学科	個別面談記録	Webクリエイター学科	個別面談記録	ホテル・ブライダル学科	個別面談記録	医療事務学科	個別面談記録	診療情報管理士研究科	個別面談記録	情報ビジネス学科	個別面談記録	国際ビジネス学科	学科MTG議事録	公務員学科	不明	日本語学科	学科MTG議事録
情報システム学科	個別面談記録																							
建築・デザイン学科	個別面談記録																							
Webクリエイター学科	個別面談記録																							
ホテル・ブライダル学科	個別面談記録																							
医療事務学科	個別面談記録																							
診療情報管理士研究科	個別面談記録																							
情報ビジネス学科	個別面談記録																							
国際ビジネス学科	学科MTG議事録																							
公務員学科	不明																							
日本語学科	学科MTG議事録																							
中項目2	就職等進路（就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか）																							
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか（またそれはきちんと学生や保証人（保護者）に周知されているか）	A	4	保護者懇談会記録、カレッジガイド、就職ハンドブック																				
2	キャリアサポート関連の有資格者（キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等）がいるか	C	2	なし																				
3	就職担当部門と担任教員との連携は図られているか	C/Q	4	進路活動状況報告、進路未決定者記録																				
4	関連業界への就職率の向上は図られているか	C/Q	4	企業訪問報告、校内企業説明会の誘致記録、特別授業の実施記録（HP）																				
中項目3	学生相談（学生相談に関する体制は整備されているか）																							
1	学生相談に関する体制は整備されているか（相談窓口が設置されているか）	A	1																					
2	学生の面談・相談記録があるか	B	4	<table border="1"> <tr><td>情報システム学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>建築・デザイン学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>Webクリエイター学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>ホテル・ブライダル学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>医療事務学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>診療情報管理士研究科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>情報ビジネス学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>国際ビジネス学科</td><td>学科MTG議事録</td></tr> <tr><td>公務員学科</td><td>不明</td></tr> <tr><td>日本語学科</td><td>学科MTG議事録</td></tr> </table>	情報システム学科	個別面談記録	建築・デザイン学科	個別面談記録	Webクリエイター学科	個別面談記録	ホテル・ブライダル学科	個別面談記録	医療事務学科	個別面談記録	診療情報管理士研究科	個別面談記録	情報ビジネス学科	個別面談記録	国際ビジネス学科	学科MTG議事録	公務員学科	不明	日本語学科	学科MTG議事録
情報システム学科	個別面談記録																							
建築・デザイン学科	個別面談記録																							
Webクリエイター学科	個別面談記録																							
ホテル・ブライダル学科	個別面談記録																							
医療事務学科	個別面談記録																							
診療情報管理士研究科	個別面談記録																							
情報ビジネス学科	個別面談記録																							
国際ビジネス学科	学科MTG議事録																							
公務員学科	不明																							
日本語学科	学科MTG議事録																							
中項目4	学生生活（学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備しているか）																							
1	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	A	4	募集要項、奨学金説明会資料																				
2	公的支援制度の利用について、学生・保証人（保護者）に案内、情報提供しているか	C/Q	4	募集要項、オリエンテーション資料、奨学金説明会資料																				
21	学生の健康管理を担う組織体制はあるか（学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか）	A	4	健康診断案内（在学生全員受診→結果配布、要受診者再受診案内）																				
41	課外活動に対する支援体制は整備されているか	A	4	サークル活動記録、活動費の支援（学生会予算）、各学科の地域連携活動への補助																				
42	学生の生活環境への支援は行われているか（学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか）	A	4	アパート案内入試後発送物																				
中項目5	中途退学への対応（退学率の低減が図られているか）																							
1	退学率の低減が図られているか（受講登録、出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか）	A	3	<table border="1"> <tr><td>情報システム学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>建築・デザイン学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>Webクリエイター学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>ホテル・ブライダル学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>医療事務学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>診療情報管理士研究科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>情報ビジネス学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>国際ビジネス学科</td><td>学科MTG議事録</td></tr> <tr><td>公務員学科</td><td>不明</td></tr> <tr><td>日本語学科</td><td>学科MTG議事録</td></tr> </table>	情報システム学科	個別面談記録	建築・デザイン学科	個別面談記録	Webクリエイター学科	個別面談記録	ホテル・ブライダル学科	個別面談記録	医療事務学科	個別面談記録	診療情報管理士研究科	個別面談記録	情報ビジネス学科	個別面談記録	国際ビジネス学科	学科MTG議事録	公務員学科	不明	日本語学科	学科MTG議事録
情報システム学科	個別面談記録																							
建築・デザイン学科	個別面談記録																							
Webクリエイター学科	個別面談記録																							
ホテル・ブライダル学科	個別面談記録																							
医療事務学科	個別面談記録																							
診療情報管理士研究科	個別面談記録																							
情報ビジネス学科	個別面談記録																							
国際ビジネス学科	学科MTG議事録																							
公務員学科	不明																							
日本語学科	学科MTG議事録																							
2	退学率の目標を設定しているか	A	2																					
3	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	2																					
4	退学者数を公表しているか	B	3	職業実践専門課程様式4																				
5	中途退学者数、中途退学の原因・傾向等を把握しているか	C/Q	2																					

中項目6	保証人（保護者）との連携（保証人との連携体制を構築しているか）			
1	保証人（保護者）と適切に連携しているか（保証人のニーズを把握しているか）	A	4	保護者会報告書
2	保証人（保護者）との計画的な相談会・面談を行っているか	B	4	懇談会実施概要懇談会実施要綱. 保護者会報告書
3	緊急時の保証人（保護者）等との連絡体制を確保しているか	C/Q	4	学生調査書
中項目7	卒業生・社会人支援（卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか）			
1	卒業生への支援体制を整備しているか（再就職、キャリアアップ等について、相談に乗っているか）	B	2	UMP
2	学校情報を卒業生に知らせているか（HP・学校便り等）	C	3	同窓会報
3	学校は同窓会との連携を図っているか	C/Q	4	役員会議事録
21	卒業生への卒業後教育等の支援体制はあるか（卒業生への講習・研修を行っているか）	B	1	なし
22	卒業生への資格、検定等不合格者に対する対策を講じているか	C/Q	1	なし
41	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	A	3	HP（教育訓練給付金制度）
42	大学等卒業者の入学に際し、入学前の履修に関する取扱いを学則・細則に規定し、適切に認定しているか	C/Q	1	
		平均	3.0	
		A平均	3.1	

1:課題
学生の相談窓口が設置されていない。退学防止の取り組みと情報共有は行われているが、目標や計画まで至っていない。
2:今後の改善方策
学生相談窓口を設置し、利用方法とあわせて周知をおこなう。 退学率の明確な目標を設定するとともに、傾向把握のためのデータ収集・分析を行う。
3:特記事項

6 教育環境		カテゴリー	点数 4、3、2、1	エビデンス
中項目1	施設・設備等（施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか）			
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか（講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか）	A	4	学校設置申請書 R5時間割前期、後期
2	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	A	4	図書台帳
3	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	A	3	資産台帳 教官機・学生貸出機一覧 プリンター一覧
4	図書室・図書コーナーがあり、図書館サービスは十分に機能しているか	C	3	Bitハンドブック
21	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか	B	4	学則 お手洗いの掲示物
22	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか	B	3	教室清掃チェックシート 始業式・終業式等活動概要説明資料内での清掃活動の記載
41	施設・設備の点検・補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っているか	A	3	ホクタテの報告書
中項目2	学外実習、インターンシップ等（校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備しているか）			
1	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	A	2	4.8-①医療事務実習オリエンテーション資料 実習基本資料（ホテプラ）
2	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則が整備されているか。	B	2	情報システム学科：なし 医療事務学科：④誓約書（記入用） ホテル・ブライダル学科：なし
3	校外実習等についての成績評価基準を明確に決めているか	C/Q	4	インターンシップ評価表
中項目3	防災・安全管理（防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか）			
1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	A	3	地震および火災による避難について
2	防災・防犯設備（非常灯・消火器・警備システム等）が整備・点検されているか	A	4	消防用設備点検報告書
21	定期的に防災訓練を実施しているか	A	1	なし
41	学校における安全管理の整備を行っているか	B	4	ホクタテの報告書
		平均	3.2	
		A平均	3.0	

1:課題
①5年前ほどの本部の大量退職と今年から一昨年までのBit学事の大量退職以降、資産台帳の適切な管理出来ていない。 ②インターンシップには各学科に資料があるが、個々で作成しており、統一されていない ③防災訓練などを実施していない
2:今後の改善の方策
①資産台帳のあり方について、まずは本部とBit学事で共通認識をする必要がある。毎年、学事の人が辞めているので、仕事の引き継ぎが脆弱。人が辞めない組織するべき。 ②キャリア担当が、まず各学科の資料を把握して、統一した資料を作成する。またそれを教員に周知し、インターンシップのシラバスにも反映させる。キャリア担当が毎年異動になるので、3年ほど同じ人が担当したほうが良い。 ③防災訓練や不審者訓練などを年に1回実施する
3:特記事項

7 学生の受入れ募集		カテゴリー	点数 4、3、2、1	エビデンス
中項目1	学生募集活動（学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学選抜を行っているか。社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にしているか）			
1	学生募集活動は、適正に行われているか	A	4	募集要項
2	入学受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を策定し、学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表しているか	A	4	HP（アドミッション・ポリシー）
3	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	A	4	HP、パンフレット
4	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか	A	4	募集要項
21	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか	A	4	業務分掌
22	学校説明会等による情報提供（育成人材像、評価手段及びその基準、目指す資格・検定・コンペ、学費・教材費等の情報）を行っているか	A	4	パンフレット
23	入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか	B	4	入学前教育前の資料
41	教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、オリエンテーションなどで学校側の義務と責任を学生と保証人（保護者）に案内しているか	C/J	4	3.個人情報同意書
中項目2	入学選考（入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか）			
1	学校案内等には選抜方法が明示されているか （入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか）	A	4	募集要項
2	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学選抜を行っているか	A	4	2024入試合否判定資料
中項目3	学納金（学納金は妥当なものとなっているか）			
1	学納金は妥当なものとなっているか	A	4	募集要項
2	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	A	4	募集要項
3	入学辞退者への授業料返還について、文部科学省通知（18文科高第536号）に基づいて適切に対応しているか	B	4	学則
		平均	4.0	
		A平均	4.0	

1:課題
問題なし
2:今後の改善の方策
問題なし
3:特記事項

8 教育の内部保証システム		カテゴリー	点数 4、3、2、1	エビデンス
中項目1	関係法令、設置基準等の遵守（法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行なっているか）			
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A	2	
2	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	A	2	
3	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか	B	3	ハラスメント規定
4	セクシュアルハラスメント、アカデミックハラスメント等の防止について、規定を文書化し、対策を立て実行しているか	C/Q	3	ハラスメント規定
中項目2	個人情報保護（個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか）			
1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	A	4	個人情報保護規定
2	個人情報保護規程が文書化されているか	A	4	個人情報保護規定
3	個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができているか	B	3	非常勤講師契約書
中項目3	学校評価（自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか）			
1	学校教育、学校運営について、自己点検・評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか	A	4	自己点検・評価報告書
2	自己点検・評価報告書にまとめているか （自己点検・評価報告書があるか）	A	4	自己点検・評価P T、校内業務分掌表
3	自己点検・評価の組織があるか	B	4	自己点検・評価P T、校内業務分掌表
21	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取り組みを行っているか	B	4	学校関係者評価委員会議事録
中項目4	改革・改善（各学科の教育目標、育人人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか）			
1	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか	A	2	学内メール
2	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	A	2	卒業生就職先アンケート (直近R2年度卒業生にR3年に実施)
3	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	1	自己点検・評価関連様式「課題と対策」
4	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	1	
5	学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	3	課題・対策一覧
6	学校関係者評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	2	
中項目5	教育情報の公開（教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか）			
1	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	A	4	HP、職業実践専門課程別紙様式4
21	自己評価結果を公開しているか	A	4	HP「情報公開」ページで公開
22	学校関係者評価結果を公表しているか	B	4	学校関係者委員会報告書
		平均	3.0	
		A平均	3.2	

1:課題
法令遵守は必要に迫られ次第、関係者が研修を受けているものの、定期的な研修、共有はできていない。また、コンプライアンス体制は明確に整備されていない。また、評価については、卒業生評価を通しての観点も反映されていない。改善計画とその検証については不十分であり、毎年の自己点検のPDCAサイクルが回っていない。
2:今後の改善の方策
自己点検のPDCAサイクルを明確にするために、学園全体での業務スケジュールを共有していく。自己点検評価のもと、カリキュラム、予算、人事等に展開できるサイクルを確立していく。また、コンプライアンス研修については学園本部と連携して定期的かつ実用的な研修を計画していく。
3:特記事項

9 財務		カテゴリー	点数 4、3、2、1	エビデンス
中項目1	財務基盤（学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか）			
1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか	A	4	財産目録、貸借対照表、事業報告書
2	年度予算・中期計画が策定されているか	A	4	予算申請書
中項目2	予算・収支計画（予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか）			
1	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A	4	予算書
2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	B	4	月次報告書
中項目3	監査（財務について会計監査が適正におこなわれているか）			
1	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか	A	4	会計監査報告書
2	会計監査（内部・外部）体制のルールが明確化されているか	C/Q	3	監査規定
3	会計監査（月次決算書等）の結果報告が文書等にて明確化されているか	C/Q	3	監査規定
中項目4	財務情報の公開（私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか）			
1	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか	A	4	HP
2	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取り組んでいるか	B	4	HP
		平均	3.8	
		A平均	4.0	

1:課題
①学園本部が中心となり会計管理については概ね達成できている ②月次決算の確認、年度末決算に向けての進捗確認と予算遂行率を管理すべきである
2:今後の改善の方策
①月次決算時の内容を確認し、予算執行率を担当者・上長・箇所長にて共有する
3:特記事項

10 社会貢献・地域貢献		カテゴリー	点数 4、3、2、1	エビデンス
中項目1	社会貢献・地域貢献（学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか）			
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A	3	職業体験講座リーフレット 射水市広報誌
2	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	A	3	
中項目2	ボランティア活動（学生のボランティア活動を奨励・支援しているか）			
1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	A	3	ボランティア情報掲示板 HP地域連携学習ページ
2	目標・計画に基づく社会的活動（地域活動・地域貢献・ボランティア活動等）を実施しているか	C	4	学内クラウド HP地域連携学習ページ
		平均	3.3	
		A平均	3.0	

1:課題
カテゴリーAの点数は、全10項目のなかで最も低い結果となった。在校生向けの地域課題解決プログラムは積極的に展開できている一方で、地域住民を対象とした本校教育資源や施設を活用した貢献については限定的なレベルにとどまっている。
2:今後の改善の方策
地域住民にとってどのような地域貢献が望まれるのか、把握することから始める必要がある。また、地域貢献においては関係性構築の意味でも継続性が求められることから、人の手当て・予算確保等、継続性を担保する必要がある。
3:特記事項

全項目の平均

全項目平均	3.4
全項目A平均	3.5

基礎資料

学生データ(5年分)

入学定員、入学者数、入学定員充足率、収容定員、在籍者数、収容定員充足率(R5.5.1 現在)

学科等の名称	事項	R元 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
高度情報システム学科	入学定員	—	—	—	—	—
	入学者数	—	—	—	—	—
	入学定員充足率(%)	—	—	—	—	—
	収容定員	60	40	20	—	—
	在籍者数	20	12	4	—	—
	収容定員充足率(%)	33.3	30	20	—	—
情報システム学科	入学定員	30	30	30	40	40
	入学者数	41	49	67	98	64
	入学定員充足率(%)	136	163	223	245	160
	収容定員	50	60	60	70	80
	在籍者数	64	92	113	160	158
	収容定員充足率(%)	128	153	223	228	197
建築デザイン学科	入学定員	—	—	—	20	20
	入学者数	—	—	—	22	19
	入学定員充足率(%)	—	—	—	110	95
	収容定員	—	—	—	20	40
	在籍者数	—	—	—	22	41
	収容定員充足率(%)	—	—	—	110	102.5
モバイルビジネス学科	入学定員	20	20	20	—	—
	入学者数	13	12	14	—	—
	入学定員充足率(%)	65	60	70	—	—
	収容定員	40	40	40	20	—
	在籍者数	22	23	21	13	—
	収容定員充足率(%)	55	57.5	52.5	65	—

Webクリエイター学科	入学定員	—	—	—	20	15
	入学者数	—	—	—	15	20
	入学定員充足率(%)	—	—	—	75	133.3
	収容定員	—	—	—	20	35
	在籍者数	—	—	—	16	36
	収容定員充足率(%)	—	—	—	80	102.9
ホタル・ブライダル学科	入学定員	30	30	30	20	15
	入学者数	5	2	8	13	10
	入学定員充足率(%)	16	6.6	26.6	65	66.7
	収容定員	55	60	60	50	35
	在籍者数	9	7	10	21	21
	収容定員充足率(%)	16.4	11.6	16.6	42	60
医療事務学科	入学定員	30	30	30	30	30
	入学者数	27	39	26	39	28
	入学定員充足率(%)	90	130	86.6	130	93.3
	収容定員	60	60	60	60	60
	在籍者数	48	65	66	65	68
	収容定員充足率(%)	80	108	110	108	113
診療情報管理士 研究科	入学定員	20	20	20	20	20
	入学者数	14	17	18	21	19
	入学定員充足率(%)	70	85	90	105	95
	収容定員	20	20	20	20	20
	在籍者数	14	17	18	21	19
	収容定員充足率(%)	70	85	90	105	95
情報ビジネス学科	入学定員					15
	入学者数					7

	入学定員充足率(%)					46.7
	収容定員					15
	在籍者数					7
	収容定員充足率(%)					46.7
公務員学科	入学定員	-	-	-	10	10
	入学者数	-	-	-	4	4
	入学定員充足率(%)	-	-	-	40	40
	収容定員	-	-	-	30	10
	在籍者数	-	-	-	4	4
	収容定員充足率(%)	-	-	-	40	40
国際ビジネス学科	入学定員	20	20	20	20	20
	入学者数	25	19	33	8	0
	入学定員充足率(%)	125	95	165	40	0
	収容定員	40	40	40	40	40
	在籍者数	35	42	50	39	8
	収容定員充足率(%)	87.5	105	125	97.5	20
日本語学科	入学定員	75	70	70	45	40
	入学者数	75	32	48	72	4
	入学定員充足率(%)	100	45.7	68.5	160	10
	収容定員	120	120	120	80	85
	在籍者数	112	103	52	77	77
	収容定員充足率(%)	93.3	85.8	43.3	96.2	90.6

② 卒業者数(人)

区分	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
高度情報システム学科	8	6	4	—	—
情報システム学科	18	40	43	57	86
建築・デザイン学科	—	—	—	—	22
幼児教育学科	9	—	—	—	—
モバイルビジネス学科	9	11	7	—	—
Webクリエイター学科	—	—	—	8	12
ホテル・ブライダル学科	4	5	1	8	11
医療事務学科	20	25	39	25	40
診療情報管理士専攻学科	14	17	18	21	18
情報ビジネス学科	—	—	—	—	—
公務員学科	—	—	—	3	4
インターナショナルビジネス学科	6	19	17	31	8
日本語学科	33	74	24	6	73
計	121	197	153	159	274

③ 退学者数(人)

区分	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
高度情報システム学科	1	2	0	—	—
情報システム学科	2	6	9	7	7
建築・デザイン学科	—	—	—	1	0
幼児教育学科	0	—	—	—	—
モバイルビジネス学科	2	5	0	2	—
Webクリエイター学科	—	—	—	3	5
デジタルメディア学科	—	—	—	—	—
インターネットビジネス学科	—	—	—	—	—
ホテル・ブライダル学科	0	0	1	2	0
医療事務学科	2	0	1	0	2
診療情報管理士研究科	0	0	0	0	1
公務員学科	—	—	—	1	0
国際ビジネス学科	5	6	1	0	0
日本語学科	7	5	1	1	
計	19	24	13	17	15
退学率	6.55%	6.8%	3.2%	4.2%	3.4%

④ 休学者数(人)

区分	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
高度情報システム学科	3	0	0	—	—
情報システム学科	1	0	1	2	0
幼児教育学科	0	—	—	—	—
モバイルビジネス学科	0	0	1	0	—
Webクリエイター学科	—	—	—	0	0
建築・デザイン学科	—	—	—	0	0
ホテル・ブライダル学科	0	0	0	0	0
医療事務学科	1	1	0	0	0
診療情報管理士研究科	0	0	0	0	0
情報ビジネス学科	—	—	—	—	0
公務員学科	—	—	—	0	0
国際ビジネス学科		0	0	0	0
日本語学科	0	0	0	0	0
計	5	0	2	2	0
休学率	1.72%	0.3%	0.6%	0.5%	0%

⑤ 就職者数(人)

区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
高度情報システム学科	8	6	4	—	—
情報システム学科	12	34	36	51	72
建築・デザイン学科	—	—	—	—	20
モバイルビジネス学科	9	10	6	8	—
Webクリエイター学科					12
幼児教育学科	7	—	—	—	—
デジタルメディア学科	—	—	—	—	—
インターネットビジネス学科	—	—	—	—	—
ホテル・ブライダル学科	4	5	5	8	11
医療事務学科	3	23	36	24	27
診療情報管理士研究科	14	16	17	21	17
情報ビジネス学科	—	—	—	—	—
公務員学科	—	—	—	2	3
国際ビジネス学科	3	16	15	29	8
日本語学科	3	69	21	6	2
希望者数	63	179	136	149	172
就職率	100%	99.4%	99.3%	100%	100%

※就職率＝就職内定者数/就職希望